

## 第293回 京都歩こう会コース案内

リーダー 黒田 敬司

日時:2020年10月23日(金)

集合:叡山電鉄本線・修学院駅 10時受付終了

コース:洛北めぐり・修学院～実相院 ☆

距離:9.0km

行程:叡電・修学院駅 ⇒ 鷺森神社 ⇒ 赤山禪院 ⇒ 三宅八幡宮(昼食) ⇒ 実相院 ⇒  
 |—— 0.9 —→|—— 1.1 —→|—— WC 2.7 —→|—— WC 2.1 —→|——  
 ⇒ 地下鉄・国際会館駅(解散)  
 —— 2.2 —→| (単位:km)

### 【見どころ】

● **鷺森神社(さぎもりじんじや):**

創建:貞観年間(859-877年)とされ、赤山明神付近に祀られ、応仁の乱で罹災、修学院離宮の山林中に移されたが離宮造営の為、霊元天皇の思召して元禄2年に現社地を賜り、山端の氏神として今日に至っている。今では森林浴や紅葉の名所としても知られている。

● **赤山禪院(せきざんぜんいん):**

延暦寺別院の一つ、京都御所から見て表鬼門の方角(東北)に当たるため、方除けの神として古来信仰を集めた。拝殿屋根の上には御所の東北角・猿が辻の猿と対応して、御幣と鈴を持った猿が安置されている。比叡山延暦寺千日回峰行の内、100日間比叡山から雲母坂を登降する「赤山苦行」と称する荒行がある。これは赤山大明神に対し花を供するために毎日、行者道に倍する山道を高下するものである。

当院は明治の神仏分離令の後も神仏習合の形を残している。

● **三宅八幡宮(みやけはちまんぐう):**

創建は社伝によれば、推古天皇の時代とされる。御利益は子供の守り神として、かんの虫封じ、夜泣き、安産、学業成就の他、近年かんの虫退治の信仰の広がりを物語る大量の大絵馬が見つかり、国の重要有形民俗文化財に指定されている。

● **実相院=岩倉実相院門跡:**

開山は鎌倉時代(1229年)静基僧正による、昭和27年天台寺門宗から独立。幕末には岩倉具視も一時ここに住んでおり、当時の密談記録が残っている。見どころは、黒い床に木々が反射する光景「床緑」「床紅葉」で知られている。建物の老朽化で多数のつかえ棒が施されて倒壊を免れてる状況、修理資金集めが課題。



鷺森神社・拝殿



三宅八幡宮・本殿



実相院・山門

### 【次回第294回ご案内】

日時:2020年11月27日 (第4金曜)

コース:平城宮跡歴史公園を散策 距離:6.0 km

集合:近鉄京都線・新大宮駅 午前10時

### 【次回下見会のご案内】

日時:2020年11月13日 (第2金曜)

コース:昆沙門堂～元慶寺ウォーキング 距離:8.0 km

集合:JR東海道本線・山科駅 午前10時